

北海道

Hokkaido Tourism Organization

観光レポート

2023年
令和5年3月25日発行

春号



2022年12月の延べ宿泊者数は、新型コロナが感染拡大した
2020年2月以降で初めて2019年同月の実績を上回る

トピックス 北海道観光振興機構改革に向けた提言書が、
改革プロジェクトチームから小金澤会長に手交されました。

編集コラム 関係人口と地域づくり

HOKKAIDO LOVE!



北海道の延べ宿泊者数実績

2022年12月

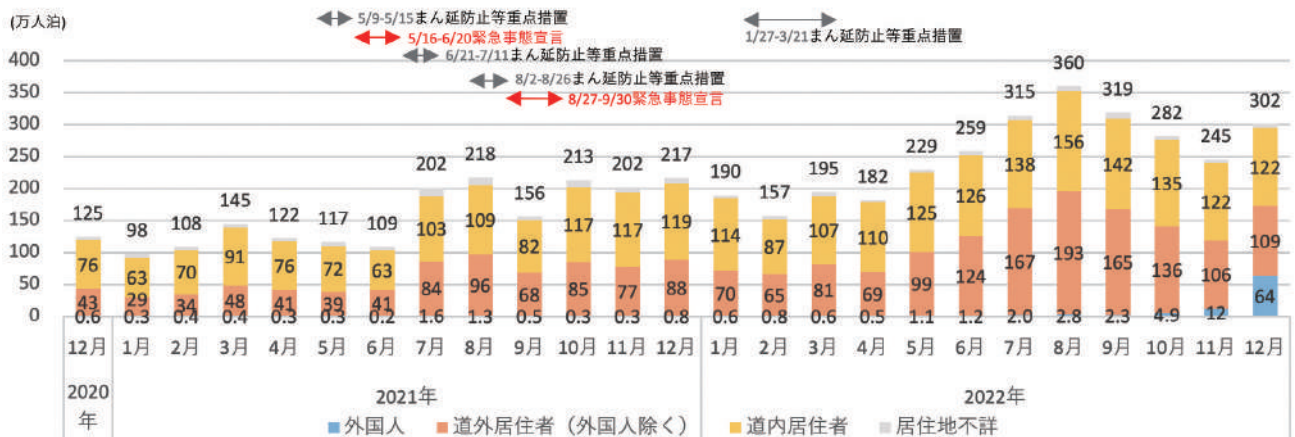
- 北海道の延べ宿泊者数(全体)は、12月は302万人泊(前年同月比+39.1%、2019年同月比+4.8%)であった。
- 9月以来、3か月ぶりに300万人泊を超え、更に訪日外国人の急激な増加により、新型コロナウイルスが感染拡大した2020年2月以降で初めてコロナ前の2019年同月を上回った。
- 北海道の日本人延べ宿泊者数は、12月は238万人泊(前年同月比+10.2%、2019年同月比+28.6%)であった。
- 2019年同月比からプラスとなったのは6月以降、7か月連続となり、感染拡大前の水準を上回っている。
- 北海道の外国人延べ宿泊者数は、12月は63万6千人泊(前年同月比+7697.8%、2019年同月比-38.1%)であった。
- 10月11日に入国者数の上限が撤廃され、個人の外国人旅行客の入国も解禁されるなど、ほぼ、コロナ前の状態に戻ったことにより、コロナ前の水準には届かないものの、前年同月を大きく上回り、急激な回復傾向がみられる。
- 居住地別・月別の推移は、道外居住者(外国人を除く)は12月109万人泊(前年同月比+23.6%、2019年同月比+44.5%)、道内居住者は12月122万人泊(前年同月+2.8%、2019年同月+25.5%)となった。

延べ宿泊者数データ(2022年12月第2次速報)

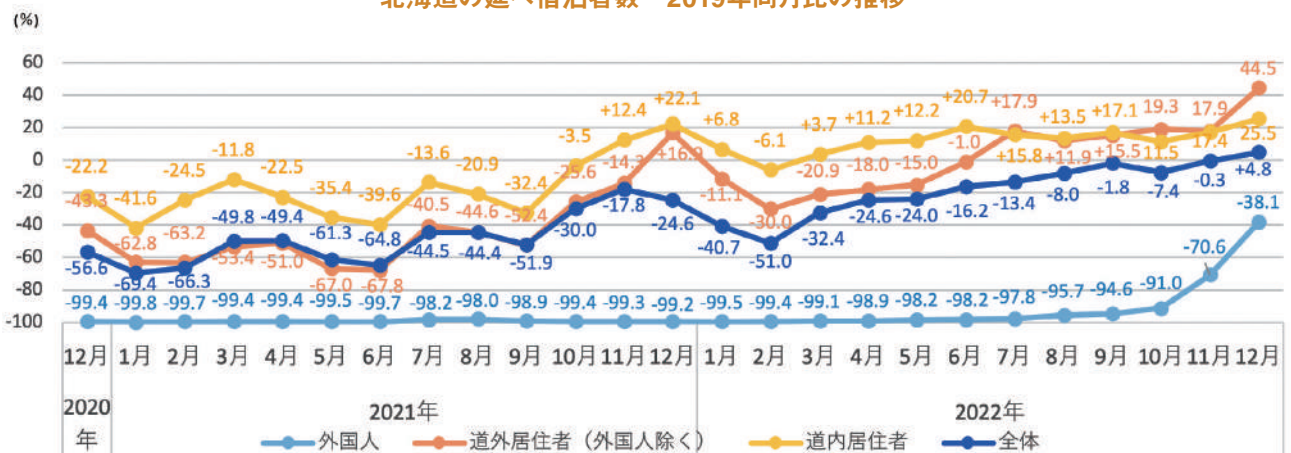
(単位:人泊)

	北海道			全国		
	全体	日本人	外国人	全体	日本人	外国人
2022.12	3,015,470	2,379,950	635,520	46,904,090	40,923,510	5,980,580
2019同月比	+4.8%	+28.6%	-38.1%	-0.5%	+7.8%	-34.9%
前年同月比	+39.1%	+10.2%	+7697.8%	+19.7%	+5.3%	+1711.9%

北海道の延べ宿泊者数 月別の推移



北海道の延べ宿泊者数 2019年同月比の推移



出典:「観光庁宿泊旅行統計調査」をもとに当機構作成
注1:2022年1月~2022年12月は速報値。

来道者輸送実績

2023年1月

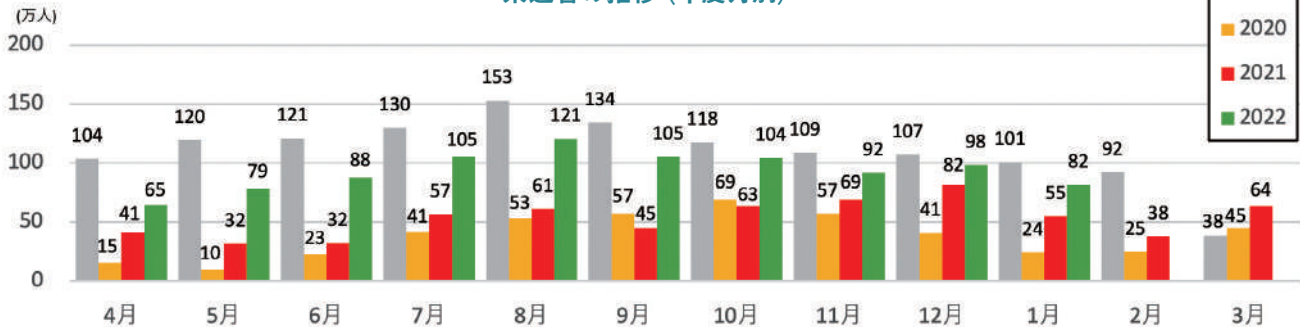
- 2023年1月の来道者数は81万6千人となり、前年同月比+48.9%であった。7月以降、4か月連続で100万人を上回っていたが、11月以降、3か月連続で100万人を下回った。
- 感染拡大前の2019年1月と比較すると-19.1%となり、過去最高の回復となった先月12月(-8.3%)から、逆戻りした。
- 輸送機関別の来道者数は、航空機が73万8千人で前年同月比+52.3%、JRが3万9千人で前年同月比+50.6%、フェリーが3万9千人で前年同月比+3.9%となり、全ての輸送機関で前年同月を大きく上回った。
- 発地空港別の来道者数は、関東が47万3千人と全体の64%を占め、次いで関西12万6千人(17%)、名古屋4万8千人(7%)、東北3万8千人(5%)、九州・沖縄3.5千人(5%)となった。
- 着地空港別の来道者数は、新千歳・丘珠が60万8千人と全体の82%を占め、次いで函館3万9千人(5%)、旭川3万3千人(5%)、帯広2万1千人(3%)、釧路1万5千人(2%)、女満別1万4千人(2%)となった。

来道者輸送実績(輸送機関別)

(単位:人)

	総数	航空機	JR	フェリー
2023.1	815,927	737,689	39,300	38,938
2019同月比	-19.1%	-19.3%	-21.9%	-10.9%
前年同月比	+48.9%	+52.3%	+50.6%	+3.9%

来道者の推移(年度月別)



来道者輸送実績(発地空港別)

(単位:人)

	東北	関東	北陸・信越・東海	名古屋	関西	中国・四国	九州・沖縄
2023.1	37,511	473,068	12,355	48,115	125,896	6,104	34,640
2019同月比	-24.4%	-21.9%	-14.9%	-16.5%	-9.7%	-43.2%	-4.9%
前年同月比	+26.8%	+54.7%	+30.5%	+38.9%	+55.4%	+102.7%	+66.5%

来道者輸送実績(着地空港別)

(単位:人)

	新千歳・丘珠	函館	旭川	帯広	釧路	女満別	稚内	紋別	中標津
2023.1	607,775	39,470	33,353	21,351	14,833	14,058	1,826	2,643	2,380
2019同月比	-18.5%	-21.4%	-24.8%	-21.7%	-26.0%	-26.2%	+4.0%	-21.9%	-13.1%
前年同月比	+53.2%	+42.2%	+43.8%	+47.3%	+51.7%	+63.9%	+133.5%	+55.0%	+68.1%

出典:「北海道観光振興機構来道者輸送実績調査」をもとに作成

今号の注目!

12月の北海道への外国人延べ宿泊者数は、1位韓国、2位香港、3位シンガポール

10月に入国者数の上限が撤廃され、個人の外国人旅行者の入国も解禁になったことにより、北海道にも多くの外国人が訪れ始めた。

急激に伸びた12月は、韓国や香港、台湾など東アジアからのお客様をはじめ、シンガポールやタイ、マレーシアなど東南アジアからのお客様も多く北海道に訪れている。

全国と比較しても、特に東南アジアからのお客様が多く、12月のスクールホリデーに合わせて、この時期に見ることが可能な雪やスキーの目的に加え、温泉や食の魅力で北海道を選択している傾向が伺える。

国籍(出身地)別外国人延べ宿泊者数(令和4年12月第2次速報)

順位	北海道		全国	
	国籍(出身地)	人泊	国籍(出身地)	人泊
1位	韓国	99,250	韓国	892,000
2位	香港	77,820	香港	480,910
3位	シンガポール	76,750	台湾	473,200
4位	台湾	70,190	アメリカ	471,260
5位	タイ	44,440	シンガポール	413,180
6位	マレーシア	43,190	中国	325,540
7位	中国	35,900	タイ	286,990
8位	オーストラリア	20,010	オーストラリア	168,290
9位	アメリカ	18,170	マレーシア	138,670
10位	インドネシア	15,590	インドネシア	122,290

出典:「観光庁宿泊旅行統計調査」をもとに当機構作成

北海道観光振興機構改革に向けた提言書が、 改革プロジェクトチームから 小金澤会長に手交されました。(2023年2月10日)



提言書を手交する様子



改革プロジェクト会議の様子

北海道観光振興機構 改革プロジェクトチームメンバー



(株)クリエイティブオフィスキュー
代表取締役プロデューサー

伊藤 亜由美 様



クリプトン・フューチャー・メディア(株)
代表取締役

伊藤 博之 様



(株)日本旅行北海道
代表取締役社長

清水 伸一 様



(株)北海道宝島旅行社
代表取締役社長

鈴木 宏一郎 様



元北海道観光振興機構会長
北海道銀行 特別顧問

堰八 義博 様



元観光庁長官
玉川大学 観光学部 客員教授

田端 浩 様



サッドラホールディングス(株)
代表取締役社長兼CEO

富山 浩樹 様



(株)萬世閣
代表取締役社長

浜野 清正 様



札幌観光バス(株)
代表取締役社長

福村 泰司 様



北海道経済部
観光振興監

山崎 雅生 様

当機構は、昨年6月末の通常総会において、小金澤会長のもと新体制が発足しました。

これまでの新型コロナウイルスの影響により、道内の観光関連産業が大きな打撃をうける中、当機構が広域連携DMOとして北海道観光の司令塔の役割を果たすことが求められております。そこで、昨年7月25日に外部の有識者10名からなる改革プロジェクトチームが設置され、同年12月まで計4回にわたり、事業内容の見直し、組織・執行体制の見直し、財務改革などについて議論が重ねられ、4項目の提言がまとめられました。

今般、2月10日に改革プロジェクトチームのメンバーを代表して、元観光庁長官・玉川大学観光学部客員教授 田端 浩様から小金澤会長に提言書が手交されました。

今後は、関係者の方々と協議しながら、提言書の内容の具現化、実践を進めて参ります。

なお、提言書・概要につきましては、当機構ホームページに掲載いたしておりますのでご覧ください。

https://www.visit-hokkaido.jp/press/detail_123.html



令和4年度優良顧客調査結果について

当機構は、令和4年度の事業として「優良顧客調査／北海道来訪者満足度・観光産業経済効果調査事業（国内観光客）」を実施しましたが、本号では「優良顧客調査」について調査・分析結果の一部をご紹介します。

○本事業における「優良顧客」とは？

- ①北海道のアンテナショップである「北海道どさんこプラザ」（道外店舗）（以下「どさんこプラザ」）の利用客
- ②道内旅行においてクレジットカードを利用し高額消費する観光客（道外居住者）

	①どさんこプラザ利用客調査	②高額消費観光客調査
調査目的	道外に居住し、北海道に対する興味・関心度が高い人の観光ニーズについて把握するとともに、どさんこプラザ起点の観光マーケティングの可能性を探り、今後の国内観光客誘客立案の参考情報を得る。	ポストコロナにおける北海道観光の活性化に向けては、客数の増加以上に客単価アップが重要。高額消費を行う人の属性・消費動向や周遊傾向を把握し、誘客戦略立案や客単価アップのための参考情報を得る。
調査手法	どさんこプラザ有楽町店（東京都千代田区）及びあべのハルカス店（大阪府大阪市）の利用客に対するWEBアンケート調査を実施（令和4年8月20日～28日。あべのハルカス店のみ9月3日に追加調査） 有効回答数：有楽町店575件、あべのハルカス店567件	道外居住者かつ道内での消費額が50万円／年以上（複数回利用及び世帯利用を含む）のクレジットカード顧客のスクリーニング調査を実施。クレジットカードの決済データにより道外居住者による道内での高額消費行動等を分析 調査件数：394件

以下、それぞれの調査結果により得られた戦略示唆の一例をご紹介します。

①どさんこプラザ利用客調査

どさんこプラザの利用者は一般層よりも北海道旅行経験が豊富で、旅行意向も高く、北海道への国内観光客誘客の際のマーケティングのターゲットとして非常に有望であり、**どさんこプラザ起点の観光マーケティングの可能性は高いと考える。**



アンケート調査の様子
（左：有楽町店、右：あべのハルカス店）

北海道に対する興味関心は「食を楽しむ」「自然・景勝地」「温泉」など一般層と変わらないが、特に飲食の道内消費額、予算引き上げ意向が高く、**飲食をきっかけとした、誘客戦略・施策、単価アップの方法を検討すべき。**

どさんこプラザの利用者でありながら、北海道未来訪の理由は「日程や休みがとれないこと」や「費用が高い」こと。**このような人たちに向けて平日の短期格安のツアーによって需要を喚起することはできないか。**

②高額消費観光客調査

北海道内において高額消費を行い、客単価の高い、男性40～50代に向けた誘客戦略・施策立案が必要。

高額消費は主に宿泊施設において、40代以上を中心に行われている。高級ホテルのさらなる誘致や、既存ホテル・旅館の滞在にさらなる付加価値をつけることで客単価を引き上げられる可能性は高い。

高額消費を行う20～30代の、「飲食店・レストラン」の利用率が高く、飲食の体験価値を強化することで消費の活性化が期待できる。

※調査の全体版については、当機構の「北海道の観光統計データ」サイト上で公開しています。

レポート一覧⇒○マーケティング調査⇒北海道来訪者満足度調査報告書⇒令和4年度 優良顧客調査報告書
ぜひご覧ください。

こちらから→



※各部で展開している事業の一例をご報告いたします。

地域観光部

外国人観光客のドライブ観光を促進！ (訪日外国人旅行者周遊促進におけるレンタカー活用のための受入環境整備事業)

当機構の公式サイト(HOKKAIDO LOVE!)では多言語による情報発信を行っています。

今回、道内7空港を拠点に旅の目的に沿った周遊モデルルートプランを、スマートフォンの地図情報提供サービス(Google Map等)へ遷移させ、カーナビとして利用できるシステムを英語版において構築しました。(旅行行程作成サイトTrip Plannerとの連携)

「旅マエ」では旅行計画として、「旅ナカ」では母国語によるカーナビとして利用が出来る、ストレスなくドライブ観光が楽しめます。今後も、増加が予想される外国人による広域周遊ドライブ観光の促進に努めて参ります。



旅行行程作成サイトTrip Plannerのしくみ

道内4地域で、観光地域づくりの視察検証事業を実施！ (令和4年度地域の魅力を活かした観光地づくり推進事業)

道内の各地域で磨き上げた観光コンテンツをモデルルートとして結び、ブランディングや商品化への可能性を検証するため、道外の旅行会社やメディア関係者を道南・道央・十勝・知床根室エリアにそれぞれ招聘しました。十勝エリアでは、宿泊施設、病院、DMOが連携(十勝サウナ協議会)、冬の新たな体験コンテンツとして取り組んでいる「北海道アヴァント(アウトドアサウナで整った体を凍結した湖でクールダウンさせる体験)」や、十勝川温泉の冬桜のライトアップ等を視察・体験するとともに、地域担当者との意見交換を行い、価値を高めるための方策について議論を深めました。



新得町でのアヴァントの様子

国内誘客部

訪日教育旅行誘致で台湾の学校関係者が約4年ぶりに来道！

北海道訪日教育旅行促進協議会(北海道運輸局、北海道、(一社)千歳観光連盟、当機構などが構成員)では、2月14日から台湾の高等学校の校長先生(6名)を道内に招聘し研修視察を実施しました。訪日教育旅行誘致に積極的な、道北(士別市、名寄市、深川市)のほか、道央(恵庭市、札幌市、千歳市)地域を中心に視察。参加者の中には北海道への訪問が初めてという方々もあり、白銀の世界に驚きと喜び、期待を持って視察先で道内関係者の説明に熱心に耳を傾けていました。今後も、訪日教育旅行誘致を促進して参ります。



アクティビティ体験の様子(士別スノーモービルランド)

AT推進部

アドベンチャートラベル・ワールドサミット北海道・日本に向けウインターシーズンに2地域で実証事業を実施(アドベンチャートラベル冬季コンテンツ検証事業)

本年9月のATWS2023の開催、その後の道内でのアドベンチャートラベルの推進に向け、魅力ある冬季のコンテンツ開発のため日本在住外国人を道内に招聘し実証事業を行いました。1月26日より羊蹄山・ニセコ地区でバックカントリースキーを、2月1日からは屈斜路湖・摩周湖周辺でのスノーシューをメインアクティビティメニューとして実施しました。今後は、外国人目線での意見や改善点、斬新なアイデアを商品造成に生かして参ります。

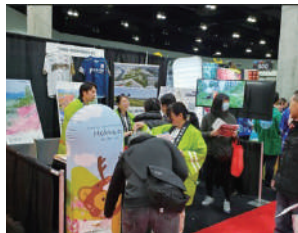


バックカントリースキーの様子

海外誘客部

アメリカ・ロサンゼルスへの事務所開設後、旅行博に初出展!(米国レップ事業)

2月18日より2日間、ロサンゼルスで開催された「Travel & Adventure Show(通称:LATAS)」に、北海道として初出展しました。世界から国や自治体、航空会社、旅行関連会社等264団体が出展、入場は有料ながら約1.7万人(昨年比150%以上)が来場するなど、盛況なイベントとなりました。北海道のブースは魅力的な食や自然のほか、日本で一番遅く開花する桜の見どころを紹介しました。レップ事務所を昨年開設し、北海道の認知度も徐々に高まっており、四季がはっきりした北海道の魅力を今後も発信して参ります。

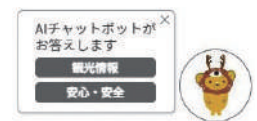


ロサンゼルス旅行博出展の様子

政策・マーケティング部

公式サイト(HOKKAIDO LOVE!)で、AIチャットボットの運用を開始!

道内に訪れる観光客に対し、災害発生時やパンデミックなど感染症への対応として、安心・安全な情報を多言語で提供するため、AIチャットボットを当機構の公式サイト内に構築し、昨年12月上旬より稼働させました。これにより、問い合わせの一時対応として「旅マエ」や「旅ナカ」での情報入手が24時間いつでも対応可能となり、ユーザーの不安やストレスを取り除くことができます。緊急的な対応以外にも、通常の観光案内としてもご利用いただけます。今後も機能を拡充させ、より正確な情報を発信して参ります。



AIチャットボットの画面

総務部

令和4年度第3回正副会長会を開催

2月20日に第3回正副会長会を開催し、令和5年度事業予算案ならびに、北海道観光振興機構改革プロジェクトチームの提言について、審議されました。令和5年度第4回理事会は3月24日に開催されます。



正副会長会の様子

北海道観光振興機構 事業活動予定

2023年4月～

「北海道アドベンチャートラベルシンポジウム」を4月28日に開催(予定)

ATWS2023の北海道開催を直前に控え、アドベンチャートラベルの魅力や意味を周知するシンポジウムを開催し、幅広い方々に魅力を発信する機会とします。詳細については、後日メール等でご案内させていただきます。

日程:4月28日(金) 場所:札幌市民交流プラザ

主催:北海道、(公社)北海道観光振興機構 共催:ATWS2023北海道実行委員会

関係人口と地域づくり

～「ワーケーション」による地方創生の取り組み事例～

近年、多くの人々が気軽に旅行をする社会が実現したことにより、人々が旅に求めるニーズも日々変化してきている。特に、新型コロナウイルス禍を機に、人々の暮らしが変化すると同時に旅行者の考え方も変化し、マイクロツーリズムという新しい旅のスタイルが生まれるなど、旅行の多様化も進んでいる。一方で、地域においては、少子化や働く人の都市部への流出などによって、人口が減少、高齢化し、過疎化による地域産業の停滞という課題も出てきている。

このような課題に対し、解決のアプローチの一つに関係人口の創出・拡大が挙げられる。これまで地域における人口といえば、短期的に観光で訪れるような「交流人口」か、長期的に移住するような「定住人口」であったが、「関係人口」は、交流人口より関わるものの定住まではしない、つまり、地域や地域の人々と継続的に関わる人々と捉えられる。

政府も「まち・ひと・しごと創生基本方針2019」において、関係人口の創出・拡大を主要な取り組みとして、関係人口創出関連の事業を行うなど、日本全国で関係人口の創出に向けた取り組みが行われている。担い手が不足している地方にとって、いかに関係人口を増やすかが地域活性化、ひいては地方創生を実現する重要なカギとなる。

こうした関係人口を生み出すきっかけになりやすい取り組みの一つとして、「ワーケーション」が挙げられる。国や道の取り組みが進められる一方、当機構においても、2021年から地域の魅力を活かした観光地づくり推進事業にて「ワーケーションの推進」を重点支援項目に掲げ、各地域の取り組みを支援している。

今年度の地域の取り組みとして、フルーツの町として知られる後志の仁木町では、ワイン産業を更なるビジネスへとつなげるため、生産者とのコネクションを構築し、ワーケーション環境の整備やワーク重視型のプログラム開発に取り組んでいる。十勝の鹿追町では酪農が盛んなエリアで、家畜ふん尿や生ごみなどのバイオマスをエネルギーとして活用するバイオマスプラントを核とした環境・ゼロカーボンを加えた環境型の課題解決型ワーケーションのプログラムを構築している。

このように、ワーケーションは利用者の仕事に必要な通信環境の整備や余暇の充実だけでなく、地域のあらゆる産業や環境などの強みを地域活性化にどう生かすかも併せて考慮していくことが重要なポイントである。更に今年度は地域のワーケーションの取り組みを深掘するため、鶴居村観光協会と取り組んでいる「親子ワーケーション」に着目し、課題解決に向けた実証事業を希望する鶴居村観光協会とともに、先進事例として注目されている厚沢部町の「保育園留学」の視察も行った。

「保育園留学」は、内閣府の一時預かり事業を活用して、親子でワーケーションができるプログラムで、2021年10月からスタートしている。子どもにとってよりよい教育環境を求めて、首都圏等の大都市部を中心に自然豊かな地方へ移住を行う「教育移住」が注目を集めている中、厚沢部町が(株)キッチハイクと連携して始めた取り組みだ。

保育園留学の仕組みは、保育園、遊休物件、まちの暮らし、それぞれが独立していた現状を、保育園の一時預かり事業、お試し移住施設や空き家などの遊休物件の活用、まちの暮らしを体感できる収穫体験などのプログラムを組み合わせ、オリジナルのパッケージにし、「保育園留学」としてブランディングすることで、あるべき姿として新たな価値を生み出している。

厚沢部町の保育園留学が人気の理由として、認定こども園「はぜる」の取り組みが挙げられる。視察した時は12月上旬で外はすでに雪に覆われていたが、施設の中はとても広く、開放的な空間で地元の子供たちと共に首都圏からも数名が、短期プログラムに参加していた。ここで働く保育士の先生に話を聞くと、「はぜる」の設計段階から、先生も参加させてもらったので、自分たちの思いを持って建てた場所であることと、何よりも先生たちがこの場所に誇りを持ち、熱い思いを持って子供たちに接している。

また、園児の数に対して保育士の数の基準の整備や事務処理を軽減するためICT技術の導入など、町も連携して体制を整備してくれたこともあり、保育園留学の受入が可能となった。町の理解がなければ、受入自体が難しかったという。

厚沢部町が保育や滞在(移住)に係る体制を整備し、こども園「はぜる」が子供の受入体制を整え、それをパッケージとして、「保育園留学」の仕組みを取り入れた(株)キッチハイク。この3者がうまく繋がり、それぞれの想いを持って取り組んだ成果であり、これが1つでも欠けると実現が難しかったのではと感じる。この保育園留学は、厚沢部町から始まったのを皮切りに全国でも広がりを見せている(2022年12月現在、厚沢部町を含め全国4地域で展開)。

今回の視察を通じて、ワーケーションの取り組みは、利用者側のメリットだけでなく、受入側にも関係人口の構築や地元にお金が落ちるといった経済的メリットもあり、関係人口を交流人口と定住人口の間のステップとしてのみではなく、コロナ後における都市部と地方部との新しい関わり方の一つとして考えていくことが大切である。

(N.S)

	区分	会員名	事業内容	所在地
1	正会員	古平町	行政	古平町
2	正会員	一般社団法人地方創生パートナーズネットワーク	DMO支援団体	東京都
3	賛助会員	三葉製菓株式会社	菓子製造・販売	旭川市
4	賛助会員	株式会社構研エンジニアリング	建設コンサルタント	札幌市東区
5	賛助会員	株式会社フジタ	総合建設業	東京都
6	賛助会員	株式会社ファイターズ スポーツ&エンターテイメント	野球興行	北広島市
7	賛助会員	中央バス観光開発株式会社	観光事業(ロープウェイ、スキー場)	小樽市
8	賛助会員	有限会社プラン・プロデュース	PR映像、電子媒体の企画等	札幌市中央区
9	賛助会員	株式会社グランベルホテル 定山溪ビューホテル	ホテル業	札幌市南区
10	賛助会員	株式会社メディカルシステムネットワーク	小売業(医療関連)	札幌市中央区
11	賛助会員	株式会社HBA	情報処理サービス業	札幌市中央区
12	賛助会員	株式会社ビーコミュニケーションズ	広告代理店業、美容業	札幌市中央区
13	賛助会員	株式会社三光不動産	不動産業	札幌市北区
14	賛助会員	三菱商事株式会社北海道支社	総合商社	札幌市中央区
15	賛助会員	株式会社トラベルジップ	観光コンサル、ウェブ制作、システム開発	東京都
16	賛助会員	一般社団法人北海道IT推進協会	IT産業の振興事業等	札幌市中央区
17	賛助会員	北海道ガス株式会社	総合エネルギーサービス事業	札幌市東区
18	賛助会員	NPO法人森と暮らす札幌	北海道物産販売、観光振興、福祉活動	札幌市西区
19	賛助会員	株式会社お宿応援隊	旅館・ホテル向けアドバイス事業	大阪府
20	賛助会員	公益財団法人札幌市芸術文化財団	芸術文化創造、発信事業	札幌市中央区
21	賛助会員	株式会社サムライブロデュース	観光コンテンツ(体験他)のプロデュース、販売等	帯広市
22	賛助会員	株式会社タカハシ	カラオケボックス運営ほか	札幌市西区
23	賛助会員	株式会社アイティ・コミュニケーションズ	コールセンター運営、システム開発	札幌市中央区

会員数 586会員(正会員309・賛助会員277)2023年2月28日現在

■一般社団法人たきかわ観光協会主催のモニターツアーに観光機構職員が参加!

(事業名:味付ジンギスカン発祥の地「滝川」の郷土料理と紙袋ランタンによる冬の観光イベント創出事業(2月18日~19日))

一般社団法人たきかわ観光協会が観光庁の「地域独自の観光資源を活用した地域の稼げる看板商品の創出事業(令和4年度)」に応募し採択され、今般実施されたモニターツアーに、小金澤会長以下、観光機構職員を含む30名以上の観光関係者などが参加し、開発中の取り組みを体験しました。

最初に訪問した滝川新生園では、合鴨の飼育場を視察し、道の駅たきかわで「合鴨南蛮そば」と「合鴨ジンギスカン丼」を試食。2日目には、松尾ジンギスカンで「羊肉キーマカレー」と「トルティーヤ」を試食。今後、地域の新たな看板商品として販売するためアンケート形式で評価を行いました。

また、4年ぶりの実開催となった市民参加型のイベント「第21回たきかわ紙袋ランタンフェスティバル」では、ツアー参加者が地元の市民ボランティアの方々の協力を得ながら紙袋ランタンの制作と点灯式にも参加し、地域の方々との交流を深めました。



たきかわ紙袋ランタンフェスティバルの様子



開発中の合鴨南蛮そばと合鴨ジンギスカン丼



開発中の羊肉キーマカレー

「HOKKAIDO LOVE!」アクセス上位コンテンツの報告と分析について

▶北海道公式観光サイト内のイベント、観光スポットの2ジャンルの人気コンテンツを紹介いたします。

- ・ジャンルそれぞれのトップ20を訪問者数順にランキングし、訪問者数(UU)のシェア、平均滞在時間、エリア、カテゴリー、お気に入り数で分析します。
- ・お気に入り数とは、観光スポットやモデルコースなどのページで「お気に入り」ボタンをクリックすると、ユーザーだけのマイリストを作成することができます。お友達やご家族と共有したり、パソコンで作成したリストをスマートフォンで見たりと、旅のプランニングに役立つ機能です。
- ・計測期間は2022年4月から2023年1月まで。

1.ジャンル：イベント(掲載件数163件)

- ・トップ3は「釧路大漁どんばく花火大会」「おびひろ平原まつり」「定山溪ネイチャールミナリエ」となっている。
- ・トップ20のUU合計は23万人で、このジャンル全体の73.5%を占める。(ジャンル合計は31万UU)
- ・平均滞在時間のトップ20の平均は2分38秒で全体平均の2分20秒より若干長い。
- ・エリアの出現率は、道央50%、道南15%、道北5%、道東30%となっており、道東の出現率が高いのが特徴的となっている。
- ・お気に入り数をカテゴリーで見ると、夜と冬が多く、この二つで約半数を占める(下記の緑セル参照)
- ・お気に入り数のトップ3は、定山溪ネイチャールミナリエ、洞爺湖ロングラン花火大会、さっぽろ雪まつりとなり、道央エリアのイベントに興味関心が高くなっている。



順位	タイトル	訪問者数	UU数シェア	平均滞在時間	エリア	カテゴリー	お気に入り数
1	釧路大漁どんばく花火大会	31,912	10.3%	00:03:30	道東	花火	20
2	おびひろ平原まつり	22,384	7.2%	00:03:19	道東	祭り・伝統行事	9
3	定山溪ネイチャールミナリエ	19,947	6.4%	00:01:55	道央	イルミネーション・ライトアップ	51
4	あっけし牡蠣まつり	18,343	5.9%	00:02:26	道東	グルメ・フードフェス	14
5	とまこまい港まつり	17,845	5.7%	00:02:51	道央	花火	6
6	さっぽろ雪まつり	12,814	4.1%	00:02:35	道央	雪・冬まつり	25
7	洞爺湖ロングラン花火大会	11,892	3.8%	00:01:28	道央	花火	38
8	函館港まつり	11,373	3.7%	00:03:05	道南	祭り・伝統行事	6
9	阿寒湖の森ナイトウォークカムイルミナ	9,855	3.2%	00:01:17	道東	イルミネーション・ライトアップ	23
10	北海道お酒と食の美味しいマルシェ	7,912	2.5%	00:03:19	道央	グルメ・フードフェス	6
11	さっぽろオータムフェスト	7,681	2.5%	00:01:50	道央	グルメ・フードフェス	11
12	五稜郭公園夜桜のライトアップ	7,271	2.3%	00:02:36	道南	花・紅葉・自然	5
13	豊平川花火大会	7,211	2.3%	00:03:18	道央	花火	4
14	層雲峡温泉氷瀑まつり	6,759	2.2%	00:02:30	道北	雪・冬まつり	21
15	おびひろ広小路七夕まつり<2022年中止>	6,708	2.2%	00:02:35	道東	祭り・伝統行事	1
16	湯の川温泉花火大会	6,064	1.9%	00:03:51	道南	花火	4
17	十勝川白鳥まつり「彩凜華」	5,984	1.9%	00:01:31	道東	イルミネーション・ライトアップ	9
18	ミュンヘン・クリスマス市 in Sapporo	5,878	1.9%	00:03:05	道央	アート・音楽・文化	9
19	千歳・支笏湖水凧まつり	5,823	1.9%	00:02:43	道央	イルミネーション・ライトアップ	15
20	しずない桜まつり	4,871	1.6%	00:03:01	道央	花・紅葉・自然	9
	合計(平均滞在時間はトップ20の平均値)	228,527	73.5%	00:02:38			286

2.ジャンル：観光スポット(掲載件数564件)

- ・トップ3は「五稜郭公園」「川湯温泉」「然別湖湖底線路」となっている。
 - ・トップ20のUU合計は28万で、このジャンル全体の43.6%を占める。(ジャンル合計は65万UU)
 - ・平均滞在時間のトップ20の平均は2分32秒で全体平均の2分26秒より若干長くなっている。
 - ・エリアの出現率は、道央25%、道南15%、道北25%、道東35%となっており、他のジャンルに比べて道央の極集中は見られず、地方分散の潜在ニーズはあると言える。
 - ・お気に入り数のトップ3は、「白金青い池」「天に続く道」「ファーム富田」となっており、ジャンルトップ3に連動しておらず、強い嗜好性が見られる。(P11緑セル参照)
- ※観光スポットのカテゴリーは複数にまたがることから分析対象としていない。



「HOKKAIDO LOVE!」アクセス上位コンテンツの報告と分析について

順位	タイトル	訪問者数	UU数シェア	平均滞在時間	エリア	お気に入り数
1	五稜郭公園	32,853	5%	00:02:48	道南	49
2	川湯温泉	24,717	4%	00:02:28	道東	22
3	然別湖湖底線路	23,596	4%	00:02:24	道東	52
4	白金青い池	19,596	3%	00:01:56	道北	134
5	天に続く道	16,628	3%	00:01:53	道東	92
6	松前公園	16,215	3%	00:02:58	道南	19
7	二条市場	15,478	2%	00:02:17	道央	33
8	ファーム富田	15,018	2%	00:02:07	道北	85
9	函館山	12,416	2%	00:03:12	道南	18
10	神威岬	11,917	2%	00:02:37	道央	55
11	釧路湿原国立公園	11,546	2%	00:02:50	道東	25
12	ジェットコースターの路	11,159	2%	00:03:06	道北	57
13	旭川市旭山動物園	10,993	2%	00:02:14	道北	62
14	登別地獄谷	9,526	1%	00:02:41	道央	29
15	くしろ湿原ノロッコ号	9,083	1%	00:02:42	道東	25
16	小清水原生花園	9,038	1%	00:03:21	道東	14
17	三国峠展望台	8,424	1%	00:02:42	道東	32
18	支笏湖	8,371	1%	00:02:16	道央	30
19	四季彩の丘	8,196	1%	00:01:50	道北	59
20	羊蹄山	7,507	1%	00:02:15	道央	18
合計 (平均滞在時間はトップ20の平均値)		282,277	43.6%	00:02:32		910

キュンちゃんの小部屋



北海道観光振興機構 LINE公式アカウント

北海道の旬な情報はこちらから！
お友達登録が約25万人を突破
(※2023年2月末現在)
キュンちゃんが道内各地を紹介中！



北海道の観光案内所



どさんこ旅サロン
東京・東京交通会館3階

「どさんこ旅サロン」は、「北海道どさんこプラザ」(北海道のアンテナショップ)がある、東京交通会館の3階(札幌市東京事務所内)にございます。(JR有楽町駅下車すぐ)
道内各地のパンフレットを取り揃えているほか、スタッフによる観光・イベント情報の案内や旅行相談も承っています。

住所／東京都千代田区有楽町2丁目10-1
東京交通会館3階
営業時間／11:00～19:00
定休日／土・日・祝、年末年始、
施設の全館休業日
問合せ／電話03-6206-3163



北海道さっぽろ観光案内所
JR札幌駅西コンコース北口

JR札幌駅の「北海道さっぽろ食と観光情報館」内にあり、専門のスタッフが日本語以外に、英語、中国語、韓国語で旅行相談に応じ、最新の観光情報を提供致します。また、観光振興機構作成のパンフレットのほか、会員施設のパンフレットが各種陳列されています。

住所／札幌市北区北6条西4丁目JR札幌駅西コンコース北口「北海道さっぽろ食と観光情報館」内
営業時間／8:45～20:00 定休日／年中無休
問合せ／電話011-213-5088

会員募集中!

入会申込みの詳細は、
お問い合わせください。



■本レポートに関するお問い合わせ先

公益社団法人北海道観光振興機構
政策マーケティング部
〒060-0003
札幌市中央区北3条西7丁目1番1 緑苑ビル1階
TEL 011-231-0941 FAX 011-232-5064

大ほっかいどう祭 二〇二三年

北海道が、ここに集う。

大ほっかいどう祭

in 札幌ドーム

開催決定!

8月19日(土)・20日(日)



大ほっかいどう祭



主催 ● 札幌テレビ放送株式会社・株式会社札幌ドーム 特別後援 ● 公益社団法人北海道観光振興機構
後援 ● 北海道・札幌市・札幌市教育委員会 協力 ● 株式会社STVラジオ

HOKKAIDO LOVE!